

【公表】 事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------------|--------|----|
| ○事業所名 | 多機能型事業所 運動療育センターキートス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 8 年 2 月 2 日 ~ 令和 8 年 2 月 15 日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 33 | (回答者数) | 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 8 年 2 月 2 日 ~ 令和 8 年 2 月 14 日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8 年 3 月 5 日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 運動能力、理解度などによって5人前後のグループに分けて活動している。 そのグループにあった運動内容を提供出来る。 | グループ分けを固定せず、その時々の子どもの様子や運動の目的、成長度も配慮して考えている。 | 学校、保護者、相談支援専門員、他事業所と更に連携を深め、子ども達に合った支援を提供していく。 |
| 2 | エリアを分けた活動が実施できる。 | 1階と2階で活動エリアを分ける事ができる。 1階では運動を中心とした活動。 2階では運動以外の個別課題を中心とした活動。 場所を分ける事で、一人ひとり集中して課題に取り組む事ができる。 | グループ分けとエリア分けを組み合わせることで子ども達一人ひとりに支援が行き届く様に、時間帯や活動内容に合わせたスタッフ配置を継続する。 子ども達が1階と2階を移動する際にも、スタッフ同士で声をかけあい、安全に移動できる環境をつくる。 |
| 3 | 運動や制作(個別課題)に季節の行事を取り入れている。 | ハロウィン、節分、ひな祭りなど、季節の行事に関する手先課題を取り入れ、手先の発達を促している。 運動の中でも季節の行事に関連付け、ファンゲームとして楽しく運動できるように工夫している。 | 行事に関連した運動や制作を実施した際には活動の様子を写真に撮って保護者に送り、保護者にも楽しい雰囲気を感じてもらえるようにする。 |

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点 | 事業所として考えている課題の要因等 |
|---|---|---------------------|--|
| 1 | 階段があり、バリアフリーではない。 | 構造上の問題がある。 | 階段昇降時には、必ずスタッフが下につく。 また、しっかり手すりを持つように声をかけながら移動する。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |